

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 2 3 回さがみはら森林ビジョン審議会			
事務局 (担当課)		環境経済局 経済部 津久井地域経済課 電話 0 4 2 - 7 8 0 - 1 4 0 1 (直通)			
開催日時		令和 2 年 1 1 月 1 9 日 (木) 午後 2 時 ~ 午後 4 時			
開催場所		緑区合同庁舎 3 階 会議室 3 - 2 A、B			
出席者	委員	7 人 (別紙のとおり)			
	その他	0 人			
	事務局	5 人 (経済部長、津久井地域経済課長 ほか 3 人)			
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由					
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 事 (1) 令和元年度さがみはら森林ビジョン実施計画の進行管理について 4 その他 5 閉 会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開会

2 あいさつ

事務局で開会し、若林経済部長挨拶の後、次第に従い議事を進行した。

3 議事

審議に先立ち、会長から事務局に会議定足数及び傍聴者の有無について確認がされた。委員の過半数以上の出席と傍聴者なしである旨を報告し、会長の進行で審議が開始された。

(1) 令和元年度さがみはら森林ビジョン実施計画の進行管理について

進行管理シート(資料1から資料3)について、順次、審議会としての意見の確認及び評価を行った。

資料1に基づき、森林ビジョン実施計画の重点事項のうち、毎年度目標を設定して取り組む「重点事項：その1」の6事業について、審議会からの意見の確認を行った。また、「重点事項：その1」は審議会評価が必要となるが、前回の審議会で一部の事務事業について委員評価が分かれたことから、本日の会議の場で審議会評価の決定を行った。

次に資料2に基づき、重点事項のうち、取組報告を行う事業である「重点事項：その2」の6事業に関する審議会からの意見について確認を行った。

続いて資料3に基づき、「重点事項以外の取り組み」の38事業中、前回の審議会でいただいた7事業の意見について確認を行った。

【「重点事項：その1」に係る審議会からの意見、質疑応答などの概要】

事業コード3-1-1「(仮称)相模原市市民の森」整備事業

○ 「仮称」としているが、正式に名称を決めてはどうか。

名称検討については、今後、考え方について整理をしていきたい。市民の森予定地の石老山については、去年の台風被害により山に登れない状況が続いており、復旧に注力している。現在、相模湖まちづくりセンターと調整しており、相模湖まちづくり会議の皆さんと新たな登山道の発掘等について検討している。

○ イベントが台風及び新型コロナウイルス感染症により中止となっている。不測の事態が起こった時のメニューとして、講演会などの用意をしておく、参加者の満足度は高いと思われるので検討いただきたい。

- 新型コロナウイルス感染症により中止となるイベントが多い。最近はオンラインでの市民活動の発表など、いろいろな情報発信をしているので、オンラインなども考えていただきたい。
- 具体的にどのようなイベントを行ったのか。参加者は子供が多いのか。
 現地の木を使用した木工クラフト活動や里山ウォーキングなどのプログラムを実施し、子供を対象とした。そのため4回目は大人の方にも興味をいただけるような、バードウォッチングのプログラムを予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。
- 石老山はすごい被害があった。修復して市民の森として使用できるのか疑問を感じる。場所の見直しなどは行っているのか。
 復旧できなければ、市民の森構想自体が成り立たなくなるが、今のところ見直し等は考えていない。
- 去年の台風でも、森林整備を行った箇所は崩れていない。的確に整備を行っていけばそんなに恐れることはないのではと思う。石老山の登山道は、以前より決られており、登山道の整備を見直して、林業事業者が作った作業路を新しい登山道として使用するのも良いのではないかと思う。
 森林の公益的機能は大事だと言われてきたが、これまで、なかなか手を入れることができなかった。しかし森林環境譲与税の創設により、森林整備に注力できる状況となった。その中で、今年度と来年度の2年間で、相模原市の森林整備の在り方を整理する予定であり、今年度は市内の森林の現況調査を実施している。その上で、木材の搬出量や需要の想定を行うタイミングで、市民の森の適地なども、浮かび上がってくることを期待している。また、これまで県や市が森林整備を行ってきた場所についてデータ作成を行う。このデータを踏まえ、来年度、考え方をまとめるにあたり、森林ビジョン審議会委員の皆様からも意見をいただきたいと考えている。
- 市民の安全確保のため、被害を受けた個所について復旧は大前提となるが、市民の森は整備して終わるのではなく、可能であれば安全を確保した上で被害箇所の一部残置や、被害箇所の復旧工事の状況、また、森林整備を行っていた箇所（被害なし）などについて、現地で確認ができると意義があるのではないか。森林整備の啓蒙活動にできると良いのではないかと思う。
- 審議会評価は「B」とする。

事業コード3 - 3 - 1 企業の森の拡大

- 社会的責任をPRしていきたい企業は非常に多いので、よく宣伝し市内に限定せず、もっと大きい単位で取り組まれたい。
- 郡上市（岐阜県）は、長良川の上流に位置しており、下流の企業よりCSR活動を行いたい旨の話があるが、社員の福利厚生はお断りしていた。林業や森

林整備に貢献する活動（予算寄付）にさせていただきたいと、強い姿勢で臨んでいた。それでも賛同する企業はいた。この事業は企業に営業に行くなど呼び込む活動と思われるため、営業努力が足りなかったとの評価になると思う。

- 特定のエリアの中で実施することにより、イベント等開催時にアピールできる。まずは、市民の森の中で展開をしていくことは、良い案と思う。
- 石老山だけではなく、登山者の方がよく来るルートがある。陣馬山から高尾山へ来る人や藤野駅を利用し青根方面へ向かう人などがいる。登山道へ入る箇所、石老山周辺であれば見晴台周辺などを中心に誘致できれば、PRになると思う。
- 現場を常にみられている林業事業体にご協力いただき、積極的に連携いただきたい。
- 審議会評価は「B」とする。

事業コード4 - 1 - 1 さがみはら津久井産材素材生産量の拡大

- 審議会評価は「A」とする。

事業コード5 - 1 - 1 水源の森林づくり事業

- 審議会評価は「B」とする。

事業コード5 - 1 - 1 地域水源林整備事業

- 審議会評価は「B」とする。

事業コード5 - 1 - 1 地域水源林保全・再生事業

- 審議会評価は「A」とする。

【「重点事項：その2」に係る審議会からの意見、質疑応答などの概要】

事業コード4 - 1 - 4 木材の多様な利用のための技術・商品開発の促進

- 広葉樹から児童机の天板を作成する段階で、端材が出る。その端材から積み木やパズルなどを作成しているが、さらに利活用できると考えている。市内森林の約半分は広葉樹林だが、整備対象となっておらず、なかなか材が出てこない状況である。広葉樹の利用が進めば森林の更なる整備に繋がる。
- 建築などに使うA材は10%程度で、その他はバイオマス利用等で、ほとんど建築資材に使われていない。津久井産材はB材が多く出る。広葉樹は切り出し時など含め、取り扱いが難しい。
- 広葉樹はなかなか出てこない状況で、需給のバランスを整理する必要があると思う。またB材、C材の利活用については、大規模な施工はできないが、降雨時に水道（みずみち）が生じるような箇所について、森林整備で生じた間伐

材を使用した土留め工を行うなど、森林整備と治山事業等を組み合わせた施工方法もあると思う。この様な施工であれば、林業事業体でも実施可能と考える。木を切って森林を良くするだけでなく、山を崩れ難くする面も森林整備で可能であるため、検討いただきたい。

【「重点事項以外の取り組み」に係る審議会からの意見、質疑応答などの概要】

事業コード3-3-2 市民協働推進事業

- 山を所有している方が、自分の山を整備することが一番持続可能な林業につながると思う。イベントなどの開催と並行して、自伐林業などの勉強会等も検討いただきたい。生業ではなく副業でも業となれば持続可能と考える。
- 新型コロナウイルス感染症の状況で、雇用情勢も緊迫している。いま、農業や林業に目を向け始めている方もかなり出てきている。相模原市は6割が森林で、首都圏の中でも他とは違った意味で、人を呼び込む資源があると思う。子供対象のイベントも良いが、子供は大人を見て育つことから、大人が環境活動をしていると、自然と子供が大人を見て環境意識が芽生えてくる。大人を対象とした研修なども実施いただきたい。

事業コード5-1-2 森林所有者への意識啓発事業

- 市民の方やボランティアに対する情報発信であれば、講演会や活動の様子などの動画をSNSに上げるなどすると関心を引くと思う。情報発信の方法としては、子供から大人まで広くなじみの深い方法が良いと思う。また、森林管理の理解促進が難しい状況であれば、森林組合や林業事業体が整備した現場などを、誰もが見られるような形で公開するのも良いのではないかと思う。

4 その他

次回審議会の開催時期及び審議内容等について説明した。

以 上

さがみはら森林ビジョン審議会 出欠席名簿

(50音順)

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	北村 美仁	一般社団法人 相模原市観光協会 専務理事		出席
2	小山 美佳江	公募委員		出席
3	佐藤 治男	津久井郡森林組合 代表理事組合長	副会長	出席
4	杉本 貴広	有限会社 杉本林業 取締役		出席
5	中村 行宏	公募委員		出席
6	淵上 美紀子	一般社団法人 さがみ湖 森・モノづくり研究所 代表理事		出席
7	松本 武	国立大学法人 東京農工大学大学院 農学研究院 准教授	会 長	出席